

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	034								
事務事業名	母子・父子・寡婦福祉事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	03	項	02	目	01	事業	03
担当部	保健福祉部	担当課	こども課		担当係	支援係			係										
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市子ども・子育て支援事業計画)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的										①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。									
現状課題	発足当時は配偶者死亡による寡婦の会員が大半であったが、現在は離婚などの自己都合により母子・父子になる方が多く、若年者の父・母が増加傾向であるため、対象の児童も乳幼児が多くなってきている。その一方で母子・寡婦福祉会の入会は減少傾向にある。ニーズに合わせた支援や参加しやすい取り組みを今後検討していく必要がある。				誰・何を対象に	市内に住所を有する母子家庭・父子家庭				どのような方法・手順で	ひとり親家庭を対象に親子の集い等を実施(親子の集い、チャレンジ教室、クリスマス会、新入学児童入学会の開催)				望ましい状態	ひとり親の方々が、生活や子育てに前向きになっていけるよう、親子のふれあいが豊かなものとなるような環境を整えるために、同じ不安や悩みを持つ同世代の方々や、同じ経験をしてきた先輩の方々や交流を持つ場を提供し、研修会やセミナー等で他市町村との情報共有も図りながら、行事やイベント等市母子寡婦福祉会と協力しながら支援活動が継続的に、かつ活発に行っているようにする。			

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく、具体的に記入してください。										
指標名	母子寡婦福祉会員数の維持	単位	人	目標値	73	目標年次	2023	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	望ましい状態を実現させるためには、主体となる母子寡婦福祉会の会員を維持していきながら交流を深め、会の自立を目指していく。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度																			
	業務名					業務名					業務名																			
	活動量					活動量					活動量																			
	①	親子おたのしみ会での交流計画・開催	1回	①	親子の集い 春・夏1回(アクアワールド・ディズニーシー)	2回	①	親子の集い 春・夏1回(日立海浜公園・ディズニーランド)	2回																					
	②	親子の集い 春・夏1回(上野動物園・ディズニーランド)計画・参加	2回	②	チャレンジ教室(親子で染物)計画・開催	1回	②	チャレンジ教室(親子でピザ作り)	1回																					
	③	チャレンジ教室(親子でうどん作り)計画・開催	1回	③	クリスマス会での親子の交流計画・参加	1回	③	ふくしまつりイベント計画準備・参加	1回																					
	④	ふくしまつりイベント計画準備・参加	1回	④	親子いちご狩り計画・開催	1回	④	クリスマス会での親子の交流計画・参加	1回																					
	⑤	クリスマス会での親子の交流計画・開催	1回	⑤	小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催	1回	⑤	親子いちご狩り計画・開催	1回																					
	⑥	新年会交流計画・開催	1回	⑥	若年母子セミナー受講に関すること。	1回	⑥	小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催	1回																					
	⑦	親子いちご狩り計画・開催	1回	⑦	母子寡婦福祉大会への参加	1回	⑦	母子寡婦福祉大会への参加	1回																					
	⑧	小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催	1回	⑧	役員会・総会の開催	2回	⑧	役員会・総会の開催	2回																					
	⑨	若年母子セミナー受講に関すること。	1回	⑨			⑨																							
⑩	母子寡婦福祉大会への参加	1回	⑩			⑩																								
⑪	役員会・総会の開催	2回	⑪			⑪																								
⑫			⑫			⑫																								
目標値に対する実績値					87	人	目標値に対する実績値					80	人	目標値に対する実績値					73	人										
決算額	計	372,120	円	内訳	特定財源		円	一般財源	372,120	円	計	376,120	円	内訳	特定財源		円	一般財源	376,120	円	計	334,190	円	内訳	特定財源		円	一般財源	334,190	円
(住民一人あたりの行政コスト)					6	円	(住民一人あたりの行政コスト)					6	円	(住民一人あたりの行政コスト)					6	円										

5 担当者評価 ②										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標どおり				成果内容	広報等の案内や参加者からの声かけ等で周知されてもきており、幼児も楽しめる行事やイベントの参加率は内容によってはあるが増加傾向にある。													
問題点	母子寡婦福祉会に入会する会員数は減少傾向にあり、会員の高齢化に伴い、今後の活動が懸念される。ニーズに合わせた支援や同世代の1人親の方と交流を持つ場の提供など、不安や孤立化を防ぐための事業内容を随時見直ししていく必要がある。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ③										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	母子・父子家庭への援助は、まだまだ必要と考えられるので、現行どおりとする。																		

7 実施計画 ④										今後3年間の事業内容について、どのようなことを、どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度											
事業内容	●親子の集いの計画・参加(年間2回) ●チャレンジ教室の計画・開催 ●親子イベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の入学お祝会での交流の場の提供・開催 ●行事・イベント参加時のアンケート実施					●親子の集いの計画・参加(年間1回) ●チャレンジ教室の計画・開催 ●ふれあい事業の計画・開催 ●親子イベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の入学お祝会での交流の場の提供・開催 ●行事・イベント参加時のアンケート実施					●親子の集いの計画・参加(年間1回) ●チャレンジ教室の計画・開催 ●ふれあい事業の計画・開催 ●親子イベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の入学お祝会での交流の場の提供・開催 ●行事・イベント参加時のアンケート実施											
	成果指	指標名	母子寡婦福祉会員数の維持	単位	人	目標値	73	指標名	母子寡婦福祉会員数の維持	単位	人	目標値	73	指標名	母子寡婦福祉会員数の維持	単位	人	目標値	73			
	予算額	歳出	計	354 千円					歳出	計	354 千円					歳出	計	380 千円				
		歳入	特定財源						特定財源						特定財源							
			一般財源	354 千円					一般財源	354 千円					一般財源	380 千円						
			計	354 千円					計	354 千円					計	380 千円						

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017~2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された2016年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。母子父子家庭の不安や孤立化を防止することは重要である。ただし、母子寡婦福祉会員数は減少に向かっていることから業務内容の見直しをする必要があるのではないか。家庭環境が良好に保てるよう、参加者のニーズに合わせた支援をしてもらいたい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤										
事務事業の方向性										
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	母子・父子家庭への支援については、対象家庭の親睦を深め孤立化を防ぎ、福祉の増進を図ることを目的としているが、今後については、費用対効果やニーズ等を把握し、事業内容の改善を図るべきである。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	母子・父子家庭の若年齢層の増加に伴い、同世代の交流の場を提供してだけでなく、経験の浅い親の不安や心配事に寄り添いアドバイスしてくれる先輩方との交流も図り、また、その交流が繰り返し繋がっていき、会員数が維持されていくような事業になるようにアンケート等で意見や要望を聞きながら見直ししていく。																		